

明治



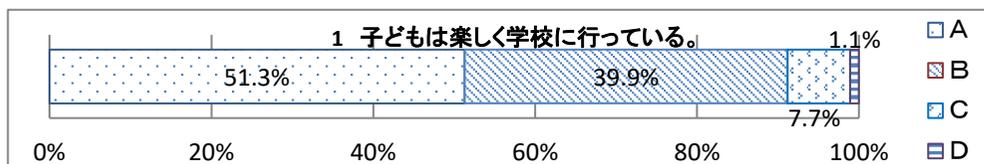
大阪市立明治小学校

今年度の本校教育活動についての評価を報告します。

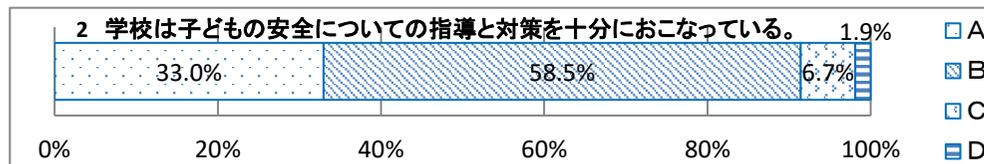
11月に実施しました学校教育についてのアンケートにつきましては、多くの保護者の皆様からご回答をいただきました。ありがとうございました。本校全教職員で自己評価したものは、学校協議会で報告をしています。ここでは、学校協議会でいただいたご意見と子ども達へのアンケートの結果を合わせてご報告します。これから子ども達の思いや願いを活かし、保護者・地域の方々からもご意見・ご協力をいただき、よりよい明治小学校の教育を創っていきます。よろしくお願いいたします。

※運営に関する計画の最終評価（教職員の自己評価まとめ）につきましては3月末には学校ホームページで公開します。

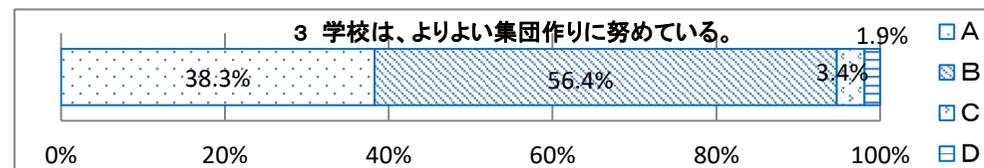
- A…よくあてはまる B…あてはまる C…あまりあてはまらない
D…あてはまらない E…よくわからない



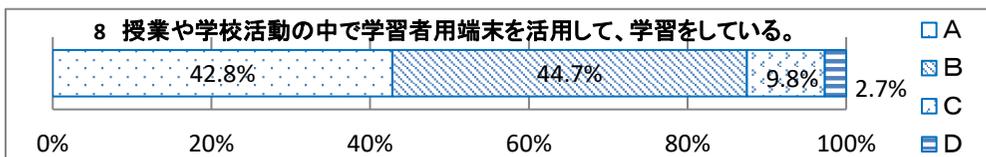
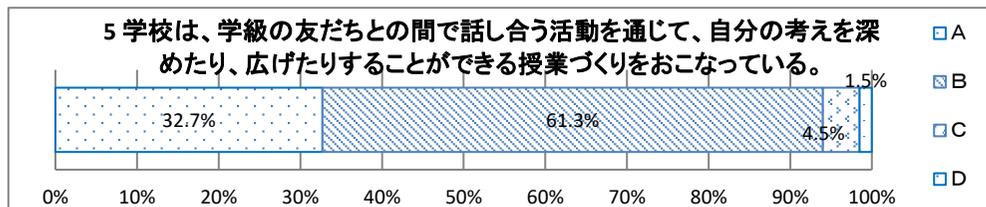
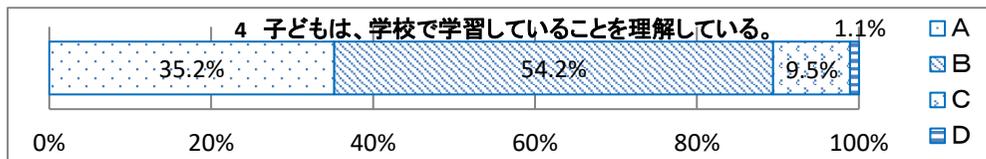
児童、保護者の多くが楽しく学校で過ごしている、通っていると感じています。しかし、今年度は低学年の数値が低くなり、全体的な数値も昨年度と比べると全体的に低くなりました。友だちとの関わりも増えてきている一方で、低学年から学校に登校しづらくなっている児童もいます。個々の児童や保護者の方の思いを受け止め、個別の対応も考慮しながら、全員が楽しく学校に通えるよう努めていく必要があると考えています。今後も、子ども達一人一人の心に寄り添い、きめ細やかな一人一人への配慮を継続していきます。



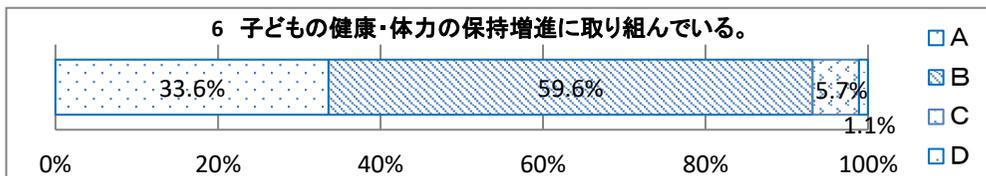
今年度も交通安全指導を行いました。運動場にもモニターを設置することで児童を見守る環境が整えられています。来校者に対する教職員の意識も防犯訓練を実施することで課題を見つけながら取り組むことができました。登下校は、安全面だけでなく、マナーの面も含めて指導を継続していきます。保護者の方へは、今年度、ホームページで下校や行事予定も含め、最新の情報が得られるようにしました。また、非常時に備えて保護者の方への引き渡し訓練を行ったり、警察の方を招いて防犯講習を行ったりするなど、児童の安全を守るための方法を学んだり、防犯への意識を高めるようにしたりしています。



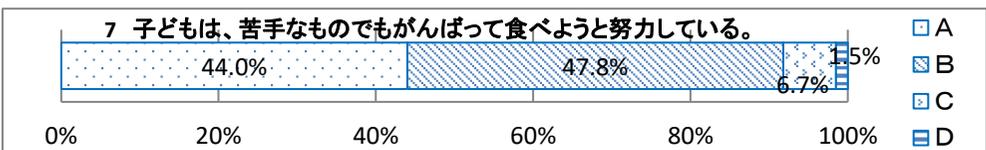
94.7%の保護者の方に集団作りの取り組みを評価いただいた結果となりました。ファミリー班活動やなかよしまつりなどで、異学年での活動を取り入れていることで、上級生がリーダーシップを発揮して下級生をまとめている姿も多く見られました。今後も、学校行事などを通して、子ども達の自主的・自立的な活動を支援し、豊かな人間関係が作れるような活動を実施するとともに、取り組みについての発信を続けていきます。



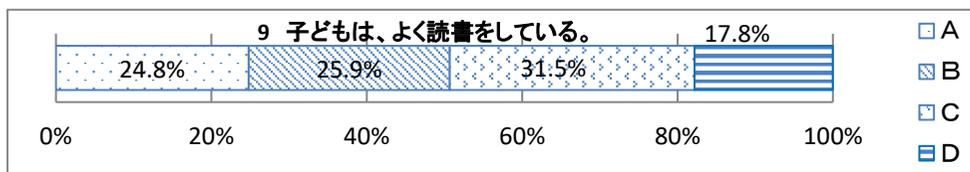
授業については、全学年平均で88.5%の子どもがわかると評価しています。これについては、個々の子どもに応じた学習指導やICT機器の活用を心がけてきた成果の表れと考えています。子どもの学習理解については保護者の89.4%が評価してくださっています。今後も「主体的・対話的で深い学び」の視点に立って、話し合い活動など、子ども主体の授業改善をおこなっていきます。伝え合うことにより授業の学びもさらに深まっています。保護者や地域にもより分かりやすくなるよう情報発信をしていきます。また、「1人1台学習者用端末」の整備に伴ってのICT機器を活用した教育の推進や外国語教育のより一層の充実を図っていきます。



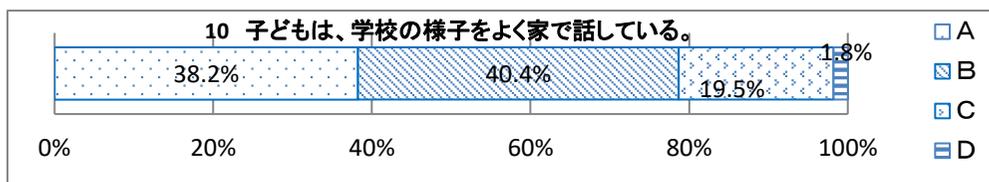
今年度は、保護者の方に90%以上の肯定的評価をしていただきました。しかし、外遊びに進んで参加する児童の割合は、高学年になるにつれて減っていく傾向にあります。学級遊びの時間を積極的に取り入れたり、体力づくりに関する取り組みの計画を十分に行ったりするなど、改善方法を検討します。今年も運動時間の確保が難しい時期が10月中旬ごろまで続きました。涼しい時期に運動量を多めにし、年間を通した児童の運動量の確保を行っていきます。



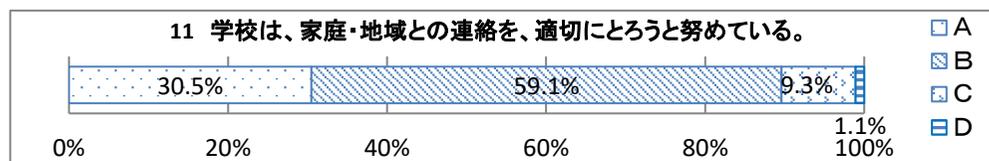
今年度は、肯定的な数値が90%を超え、ご家庭での食事の機会においても、協力していただいている様子が伺えます。給食については、学級担任からバランスのよい食事のとり方を意識させたり、栄養教諭からの食育についても継続的に取り組んだりしています。これらも、食育の機会を増やしていきます。ご家庭でも、喫食の大切さや食事のマナーなど、ご協力をお願いします。



約80%の児童が「読書をするのは好きだと思う」の肯定的な回答をしていますが、「子どもがよく読書をしている」と感じている保護者は50.7%とすれがありました。ぶっくらぶさんによる学級での読み聞かせや図書館開放、図書館だよりの発行を通じて、読書をしていけるように取り組んでいきます。また、本に親しむ児童を増やすために、新しい本を購入して学級文庫の充実を図ったり学校司書と連携したりして、購入する本や読書に興味を持つ方策の助言を受け、よいものを取り入れるようにしていきます。



78.6%の保護者の方が、子どもが家で学校の話をしてしていると回答しています。子ども達も保護者の方の回答とほぼ同等の79.7%が話していると答えています。家庭でのコミュニケーションの活性化が家庭と学校との心理的な距離を縮めると考えています。ホームページ等を通じて学校の情報を発信したり、子どもが話したくなるような活動の機会を多く作ることで、家庭での学校に関する会話を広げるきっかけとしていきます。



保護者との連携については、担任からの連絡帳や電話により連絡を取るよう努め、肯定的な回答が89.6%と高い評価をいただきました。日ごろの保護者の方との関係作りも大切にし、子ども達のよいところを積極的に伝えていきます。これからも、子ども達のよりよい成長のため教職員一同取り組んでいきますので、保護者の皆様の協力を引き続きお願いします。

子どもだけのアンケート項目について

☆学校のきまりを守っている(90.0%)

全体で9割の子ども達がきまりを守っていると答えています。教室や児童朝会などで、登下校の様子や学校の用具の使い方などについて気づいたことはその都度子ども達に伝えるようにしています。しかし、学年が上がるにつれて、きまりを守っていると答えている児童の割合は減っています。高学年は、低学年の模範となっていく存在であるので、約束を守り、よりよい学校にしていけるためには、継続的な日々の指導が大切であると考えています。

☆いじめはどんな理由があってもいけない(96.5%)

人権教育や道徳の授業では、内容を理解するだけではなく、意見や考えを交流し、多様な考えに気づかせ、どんな理由があっても人を傷つける行為はいけないことを伝えています。今後も、子ども達が互いに豊かな人間関係が作れるような活動をしていくとともに、保護者や地域にも取り組みについての発信を続けていきます。教職員についても、いじめ防止につながる学級での取り組みや学習に関する研修を進めるとともに、日々の様子やいじめアンケートを通して、子ども達の現状、実態を把握し、問題が起きたときには即時対応ができるようにしていきます。

☆自分には良いところがあると思う(87.0%)

☆他の人のために役立つ仕事を進んでしている(83.9%)

「自分には良いところがある」「他の人のために進んで仕事をする」では、平均すると数値は昨年度より上回る結果となりました。特に中・高学年では数値が高くなりました。ファミリー班活動やなかよしまつりなどで、異学年での活動を取り入れていることで、上級生がリーダーシップを発揮して下級生をまとめている姿も多く見られました。人のために進んで仕事することが、その実感として自分自身の良いところにも結びついていないのかもしれないと感じています。今後も、学校行事などを通して、子ども達の自主的・自立的な活動を支援していきたいと考えています。

☆先生方は、努力したことをほめてくれる(88.7%)

今年度、全体的に肯定的な数値が低くなりました。学習活動の中で、子ども達をほめる機会を多く作り、意欲を高めたり、自己肯定感を高めたりすることができるようにしていきます。また、否定的な回答をしている子どもの数が増えていることは真摯に受け止め、教職員間でも子ども達についての情報交換を密にして、心に寄り添った丁寧な対応をしていきます。

令和7年度 第3回学校協議会まとめ

令和8年3月6日（金）、本校において第3回学校協議会を開催しました。協議メンバーである連合町会長、連合女性会長、はぐくみネットコーディネーター、PTA現会長、PTA前会長、西区役所職員、学校職員の計13名で協議が行われました。

①児童・保護者アンケートの結果

②本校の運営に関する計画の学校教職員の自己評価（最終評価）
をもとに、ご意見をお聞きしました。

(1)協議の内容

①児童アンケートや保護者アンケートの結果の説明をおこない概ね良好であると評価。

②目標及び取り組みの内容に関して、概ねB評価（達成）であることの承認。

(2)意見等の概要

- ・ 気温が高い時期の体育の内容
- ・ 学力保障、フォローアップの方法
- ・ 家庭や学校での読書について
- ・ PTAの活動について

今後のについて

- ・ 運動がしやすい時期に運動をしたり、児童が積極的に運動ができる工夫や計画を行っていく。
- ・ 学力保障を行うために、反復学習を行ったり、個別に学習のフォローアップをしていく。
- ・ 児童用端末が導入され、学校での読書の機会が少なくなってきたので、読みたいと思える本を計画的に増やしていく。
- ・ PTAの活動に、教職員も積極的に参加していくことができるようにしていく。